

ICANNにおける gTLDポリシー策定プロセスについて

2012年11月20日(火) Internet Week 2012

T8: インターネットの決めごと(標準、ポリシー、慣習)の作り方を学ぼう
～国際舞台で活躍しよう～

3) ドメイン名ポリシー策定団体およびそのプロセスの紹介

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

前村 昌紀

ICANNの起こり

gTLDに関する原始的問題

- ~1993 IANAが論理資源を一括管理
- 1993 InterNICの成立
 - Network Solutions(NSI)が請負い、登録サービスを提供
- 1995/09 TLD(.com, .org, .net, .edu, .gov) 登録を有料化
 - TLD登録の**独占や商標取り扱い**が問題視される
- 1996年11月 ISOC(Internet Society)がIAHC(International Ad Hoc Committee) を設け、TLD管理の問題を検討

gTLD-MoU

- 1997年2月にIAHCが最終勧告を公表。
gTLDの諸問題を解決するための基本方針を覚書の形式でまとめ、関連団体(120団体ほど)が署名した
- 主な内容
 - レジストリ・レジストラモデルの導入
 - 紛争処理のための異議申立制度の導入
 - 7つのgTLDの新設
 - firm, shop, web, arts, rec, info, nom

レジストリ・レジストラ モデル

- レジストリ(registry): 名前空間の原簿を管理し、ネームサーバを設定してインターネット上で名前の検索・解決サービスを提供する事業者
- レジストラ(registrar): 利用者からの申し込みに従ってレジストリにドメイン名の登録を行う事業者
- 登録サービス提供に**競争を導入**する

米政府の提案を経てICANN設立

- 1998年1月 グリーンペーパー
- 1998年6月 ホワイトペーパー
 - 民間主導のポリシー策定を尊重しながら、米政府の関与(契約による委託)を示唆
 - IANA(ドメイン名を含む全てのインターネット論理資源を管理)機能を新法人に移行する方針
- 1998年9月 ICANNの設立
- 1998年11月 米政府とICANNの契約締結

ICANN何するものぞ

ICANN



- IANAが管理する論理資源に関する管理方針の策定を行う。
 - ドメイン名
 - gTLD
 - ccTLD
 - IPアドレス
 - DNS
 - プロトコル番号

ICANN



- IANAが管理する論理資源に関する管理方針の策定を行う。

– ドメイン名

- gTLD
- ccTLD

活動の大勢を占める

国の事情を大きく尊重

– IPアドレス

具体的な管理はRIRが実施

– DNS

RSSAC, SSACは案外活発

– プロトコル番号

方針はIETF。台帳管理のみ

ミーティングの風景 (2012年6月プラハ会議より)

<http://www.flickr.com/photos/icann/7462351160/in/set-72157630331949214>



会期中のスケジュール (2012年6月プラハ会議の例)

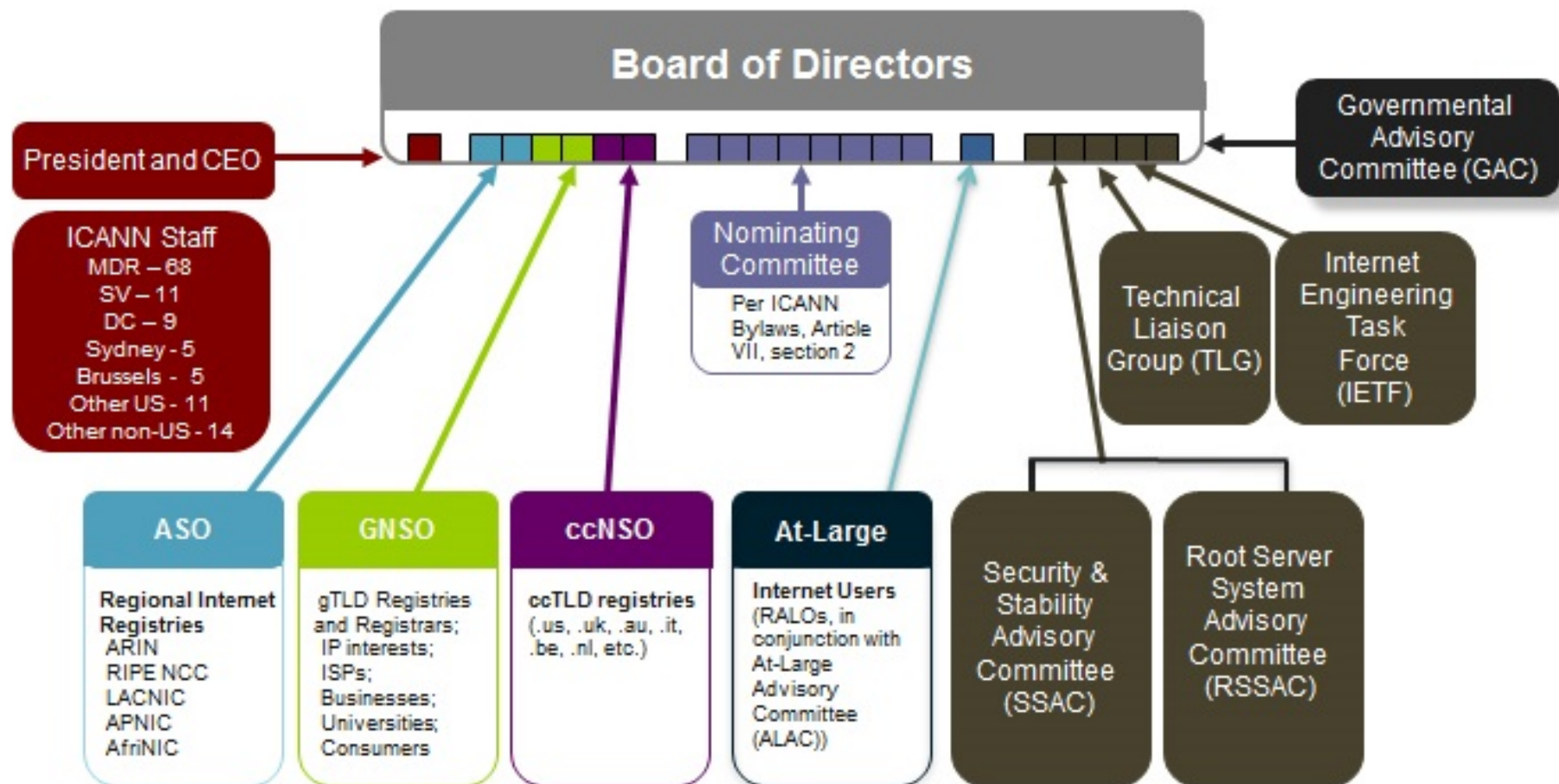
プログラム(抜粋)

6/25(月)	<p>Welcome Ceremony New gTLD Program Update、 Update on the RAA Negotiation、 Ethics and Conflicts of Interest、 ASO Activities and Policy Update、 ICANN and the Internet Governance Landscape ccNSO Technical会合、 ccNSO/GNSO評議会合同会議、 DNSSEC for Everybody、 SST Review Team Final Report</p> <p style="text-align: right;">CEO Farewell</p>
6/26(火)	<p>ALAC会合、 GAC会合、 ccNSOメンバー会合、 GNSO各部会会合</p> <p style="text-align: right;">Music Night</p>
6/27(水)	<p>GNSO評議会、 ccNSOメンバー会合/評議会、 GAC関連会合 IRTP Part C PDP WG、 New gTLD Objection and Dispute Resolution、 Trademark Clearinghouse、 Uniform Rapid Suspension DNSSECワークショップ、 ASO ACワークショップ</p> <p style="text-align: right;">GALA Night @Zofin Palace</p>
6/28(木)	<p>Public Participation Committee and Community Consultation、 Accountability & Transparency Review: Community Consultation、 IPv6 Session、 ICANNパブリックフォーラム</p> <p style="text-align: right;">ICANN44 Wrap-Up Cocktail</p>
6/29(金)	<p>(理事会委員会報告、 SO/AC報告、 ICANN理事会はなかった)</p>

ICANNの組織構造

Organization Structure - January 2011

ICANN Multi-Stakeholder Model



New GNSO Council Organization: October 2009



Legend: (V) Voting; (N) Non-Voting

**Non-Voting Liaison – Counted as a Member*

***Observer – Not Counted as a Member*

読み解くには定款を

- 組織構造やポリシープロセスを読み解く基本文書は、やはり定款。
 - <http://www.icann.org/en/about/governance/bylaws>
 - なんと日本語もある：
<http://www.icann.org/ja/about/governance/bylaws>

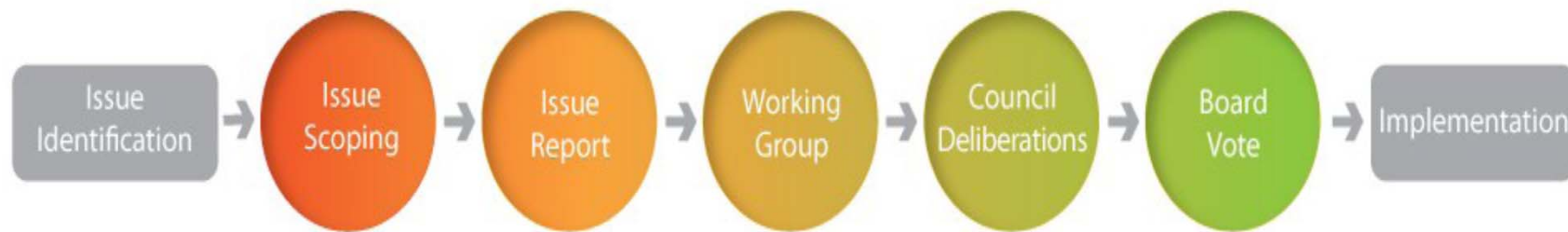
読んでみると、

- 理事会がICANN運営の最終責任を持つ(art2sec1)
- GNSOがgTLDに関するポリシーを策定し、理事会に勧告する(art10sec1)
- GNSO評議会がGNSOのポリシー策定プロセス管理に責任を持つ(art10sec3,1)
- GNSO評議会の議席は、ステークホルダーグループ(SG)毎に数が定められている(art10sec3,1)
- SGにはコンスティテューエンシー (Constituency: 部会) が設けられる場合がある他、SGのチャーターに従った運営がなされる
 - 商用SGの場合: <http://gns0.icann.org/improvements/csg-charter-01nov10-en.pdf>

gTLDのポリシー策定に関与するには

- オープンでボトムアップなプロセス
 - 条件を満たせばSGのメンバになることができる
 - ICANN会議は、誰でも参加費無料で参加できる
 - 大半のセッションは誰でも聞ける
 - フロアのマイクで意見を言うのも自由
- ポリシー策定プロセス上でちゃんと意思を反映させるためには、SG/コンスティテューエンシーへの参加が必要
 - コンスティテューエンシーに参加して、評議員を通じて評議会の議決に影響を及ぼす

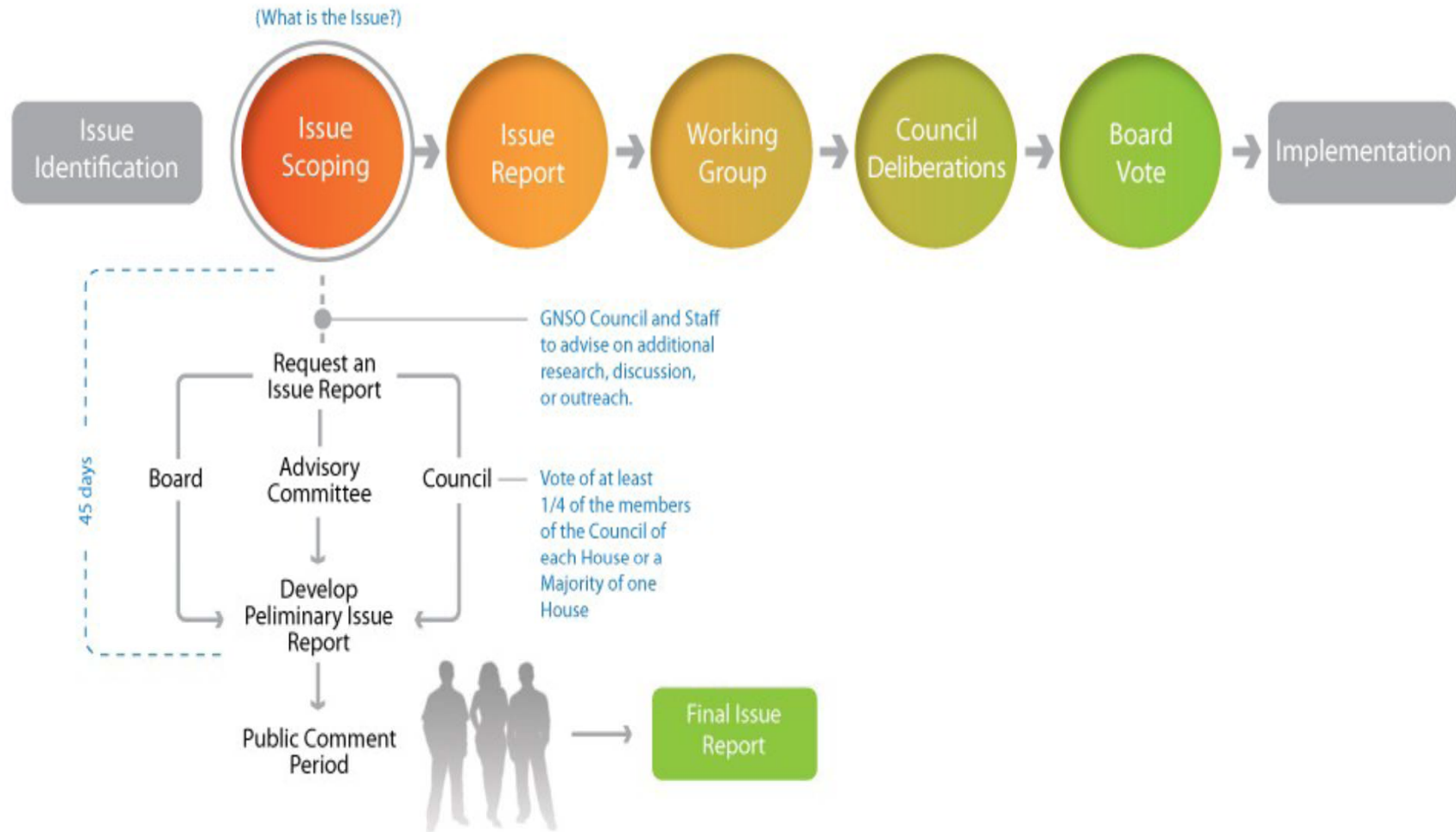
ICANN GNSOの ポリシー策定プロセス

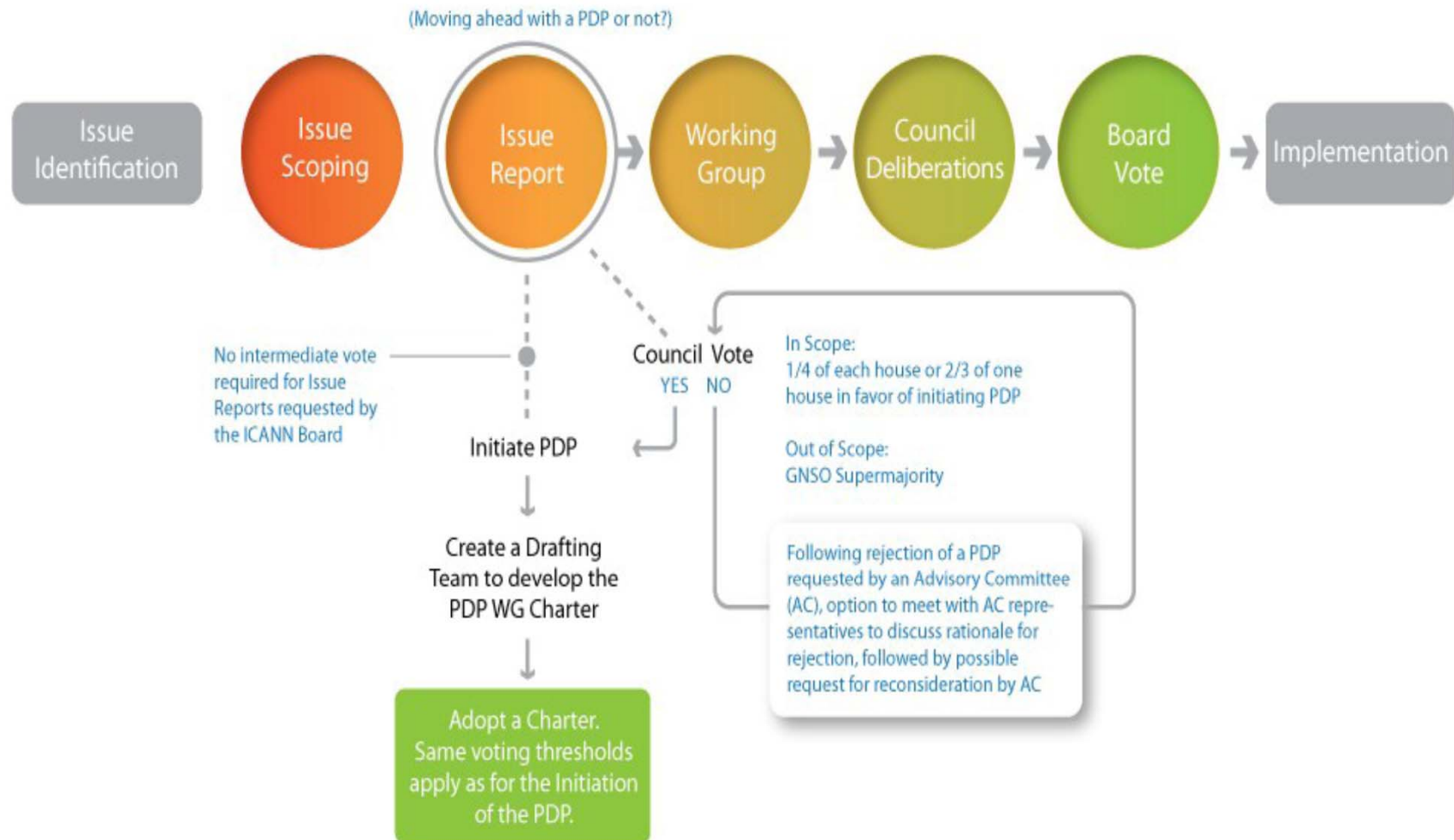


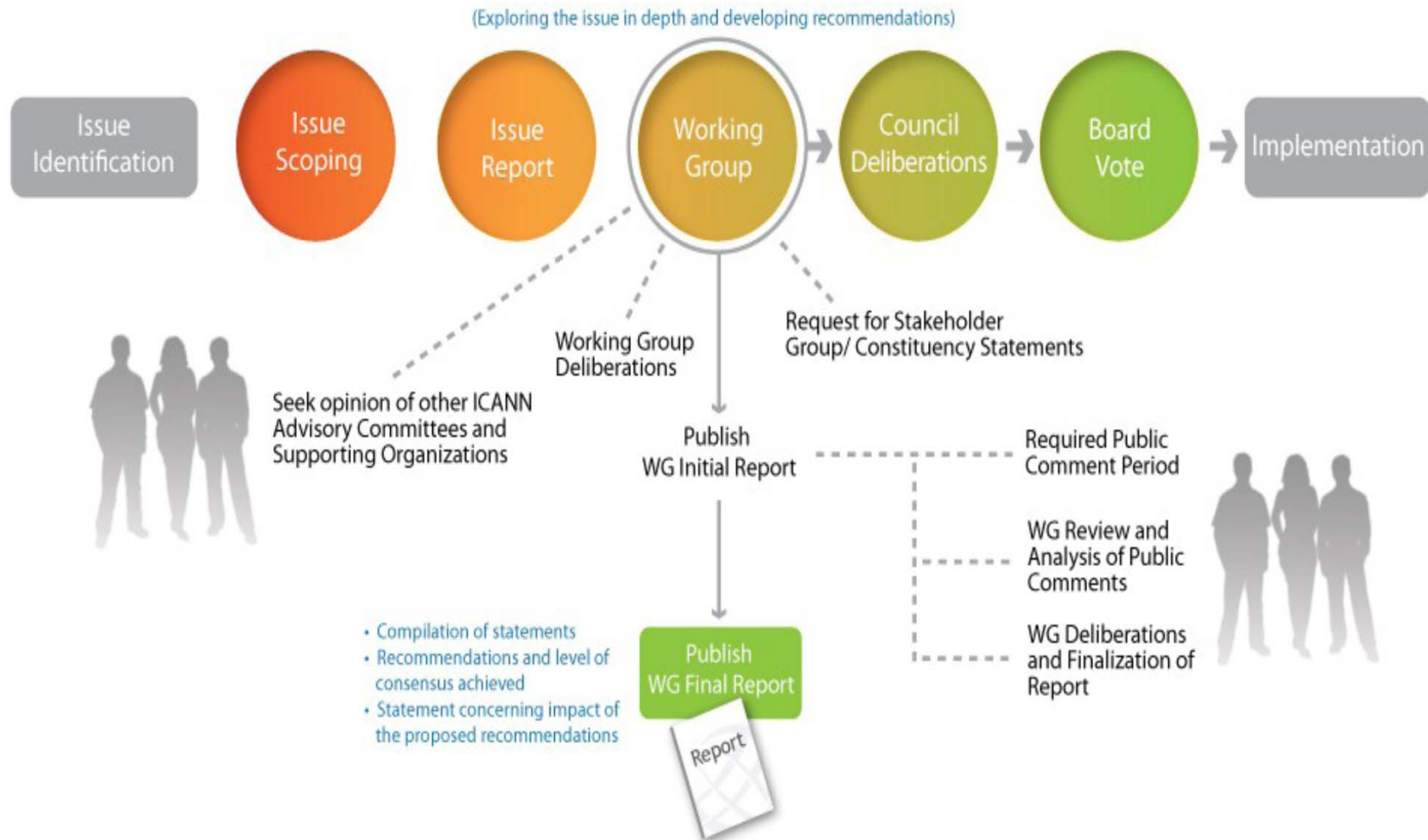


The PDP と a PDP

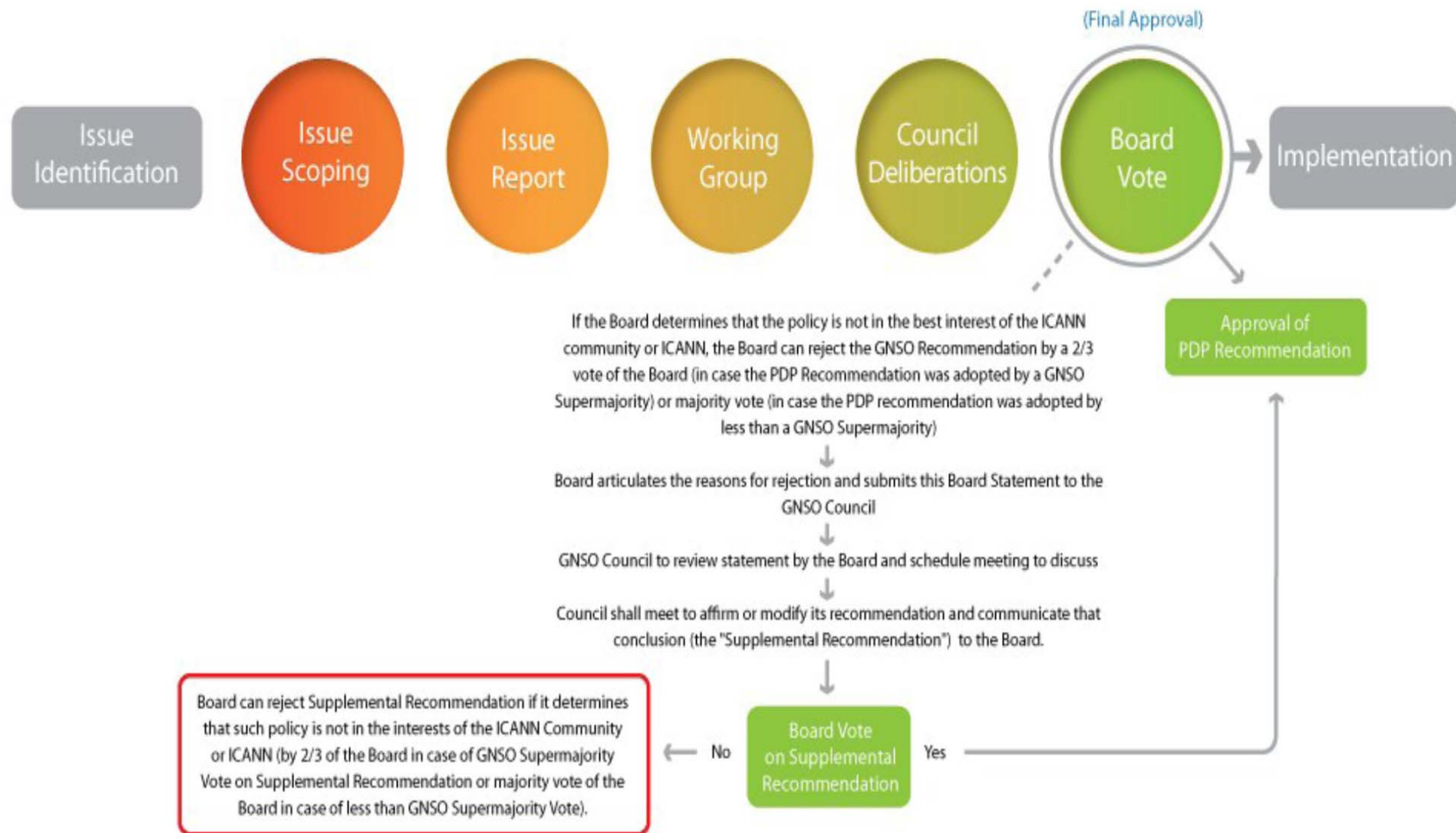
- The PDP : GNSOのポリシー策定プロセス全体
- a PDP : 評議会に提出された中で、コンセンサスポリシーとして定めるべきと判断された課題(issue)に対して、開始が宣言されて始まる個別のプロセス













新gTLDプログラムへの道 (PDPの一例として)

- 2005年12月 new gTLD PDP
 - 新gTLDに関するポリシ検討開始を決議
- 2007年 9月 GNSO gTLD Final Report
 - 理事会に対する勧告として、GNSO評議会が決議
 - <http://gns0.icann.org/issues/new-gtlds/council-report-to-board-pdp-new-gtlds-11sep07.pdf>
- 2008年 6月 議論の末、理事会Final Report採択
- 2008年10月 DAG1 (Draft Applicant Guidebook 初版)公表
 - 7版のドラフトと都度の議論を経て
- 2011年 6月 申請者ガイドブックを承認し、申請開始を2012年1月12日と定める

ありがとうございました。

ICANNにおける gTLDポリシー策定プロセスについて

2012年11月20日(火) Internet Week 2012

T8: インターネットの決めごと(標準、ポリシー、慣習)の作り方を学ぼう
～国際舞台で活躍しよう～

3) ドメイン名ポリシー策定団体およびそのプロセスの紹介

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
前村 昌紀